

ギョギョオ

キョゲ

漁業

名

○ 遠洋漁業

○ 近海漁業

○ 漁業組合

○ 漁業場

キヨク

きよく

[曲]

(名)

(一) 音楽の節

○ ~~やがて~~ 松声器から勇ましい曲が流し出た。

○ ~~あれは~~ なかなかいい曲だ。
が、作曲者は誰だ。

らら

(二) 興味

○ ~~今、~~ 嘗言つてしまつては曲がない。

(三) まがつたこと。

○ その事件については何方が曲か、何方が直

か明かにする必要がある。

④ ^{理非} 曲直を明かにする (句)

キヨク

まよく

局

名

一、郵便局の略、尚何々局といふ名称の

役所等の関係者の間では、その役所の

略称として使ふことがある。

○もしもし、こちらは局ですか。

○こちらと局へ行つてくる。

二、局長。局員任務当面の事件

○誰かその局に当るか。

キョクガイ きよくぐわい 「局外」 (名)

④局外から観察批評する。車場は、その衝にある

~~木より遠がれ樂べ~~

③局外中立 合次の章 戦字ハ を守つてぬる國がニ三ある

○局外者の位置に立つ。

キョクゲ 紅

きよくげい

曲藝

〔名〕

○これから ^{猫歌}の曲藝をやるさうだ。 ~~かろしり~~

~~見下行か見~~

○曲藝師

キョクセツ きよくせつ 〔曲折〕 (名) — する自分変

(一) 道路 海岸線、河川 の 折れ曲る こと。

〇 これからは山路で水草曲折が多くなる。

~~山に登って、始り、川の曲折して下り、~~

(二) 変化のありること。 〇 山に登って、始り、川の曲折してあるのに気がついた。

〇 幾多の曲折を経て漸く誤判が纏った。

〇 事件 今後相当の波瀾曲折が予想される。

〇 人生の過剰曲折。

〇 あの人の生涯は過剰曲折である。

キョクド

きよくど

〔極度〕

〔名〕

○ 極度の神経衰弱にかゝる。

○ 彼は地震を極度に怖れてゐる。

○ 彼の熱心は極度に達した。

キョクブテキキ きよくぶてき **局部的** (名) 形動

○今朝の雨はほんの局部的だ。たらし。

○今後多少の衝突があるかし、知れなかが、

々は局部的なもの、大勢は已に決した。

○今朝の地震はほんの局部的なものに過ぎなかつた。

○局部的に解決したのみで、大局には手を加へない。

キョリョク

きよくりよく

極力

(副)

○彼は極力事実を否認した

反対した

キヨコオ
きよかう

〔奉行〕
— 1 3 他 廿 変

— 1 3 —

○ 明日午前九時から
詔書奉讀式を奉行しま

す。

○ 學徒壯行會は昨
神宮外苑に於て盛大に

奉行された。

○ 式は来月中旬に
舉行の豫定です。

キヨ
シヤ

キヨ
シヤ

馭者・御者 (名)

① 馭者は客と話をいしてある。

② 馭者の兼て馬車の馭者は六十歳以上の老人である。

キヨシユ

きよしゆ

擧手

名

○ 陛下より擧手の礼を賜はつた。
 ○ 擧手の礼をする。

キ
エ
ス
ガ
ヨ
ス
御
す
自他廿四
會他部廿策

○ 紋は馬を御すことか上手だ。

○ 生徒を御す。

○ 御し品い人御。

○ 御し雞い。

キヨセ

キヨセ

虚勢

名

○彼はえらさうな事を言つておろか、虚勢を張つてゐるに過ぎない。

キヨセキ

まよせい

御製

(名)

天皇の御作りになつた御歌

○明治天皇には沢山の御製がある。

キヨゼツ きよせつ

拒絶 拒絶 | す 他廿変

(| す)

○ 彼は面會を拒絶した

○ 敵側の要求は全面的に拒絶され、
E. 兩軍は再

が砲火を開始した

○ 面會拒絶

キヨセン

きよせん

漁船

(名)

○ 沖には沃山の漁船が浮んでる。

カヨソン まよまん

漁村

(名)

○東京は大昔は小さな漁村であつたらしい。
○^{山田}彼は日本海を面した市、漁村で生れた。

キョ
グイ

きよ
だい

巨大

名形動

文章語

○巨大な
身
體
を
ゆ
す
つ
て
笑
つ
た。

○巨大な
健
物
が
ず
ら
り
と
並
ん
で
み
る。

○巨大な
奥

キョツカイ

きよくかい

曲解

—する

~~自他~~

サ変

○彼が事実さう考へてゐるならば曲解し甚

なしいと言はねばならぬ。

○ — する

○君は大分曲解してゐるらしい。

キョトオ きよとう

〔巨頭〕 (名)

○政界財界の巨頭一堂に会し ~~て~~戦時不産業

~~整備~~ 一つき重大協議を遂げた

○彼は財界の巨頭

○彼は財界(政界)の巨頭だ。

キョトオ

きよどう

〔挙動〕

〔名〕

○彼は舉動不審。廉にやり引致された。

あいつの
かどうを
か

キヨ
ネン

きよ
ねん

去
年

名

○去
年
の
夏

キヨマン

きよまん

〔巨萬〕

(名)

○彼の死後その巨萬の財産は全部育英資金
として母校に寄附された。

○彼は一代の間に巨萬の富を積んだ。

(きつした)

キヨメル
イホメル
清メル
(他如マ子)

○ 身体を清メル。

○ 皮を清メル。

○ 心を清メル。

○ 手を清メル。

○ 奴等を増え清メル。

井
ろ
か
き
よ
ら
か
清
ら
か
（名）形動

○ 清らかな水。

○ 清らかな流。

○ 清らかな心。

○ 清らかな煙と送よ。

○ 清らかな

○ 山は高く、水は清らかに流れている。



キヨリ

きより

距離

名

○ 神戸、大阪間の距離はどの位ですか。

○ 一米の距離を置いて列並びなさい。

○ 先の距離を

○ 最後までその距離を保つて進みなさい。

○ 彼の家までは相當の距離がある。

○ 此所から川までの距離を測りなさい。

○ 東京から京都までの距離はいくらか。

○ 長距離(※・短)

キョリニウ

キヨリウ

「居留」

— する 自己変

○ホケ月以上當地に居留の外人（国）は屈出て下

さい

○本校は日本居留民團の設立経営に於ても

のども

○居留地。居留民。

○六ヶ月以上當地に居留しゝる外人は屈出て下さい。

(81)

キヨルイ

きよるゐ

魚類

(名)

○鯨は魚類ではない。

○次の理科の時間よは魚類よついで習ふこ

とらなつてゐる。

キヨロキヨロ

キヨロキヨロ

(副)

— する 自甘爽

○彼は始終眼をきよろきよろさせておろす。

○そんな風にきよろきよろ人を見さるので

ない。

○きよろきよろ— かげで落着きなさい。

ギョロギョロ
ぎよろぎよろ
(副) ーする自甘受

○ ~~彼~~ 例 ~~の~~ ~~よ~~ ~~り~~
大きな眼玉をぎよろぎよ

ろさせた、
話し出した

△ ギよろぎよろよりその概態の度が大きい

キライ

きら川

機雷

機械水雷の略

○機雷を抱いた飛行機。

○機雷に触れて商船が沈んだ。

キライナ
きらびな
嫌いな
名形動

○弟は好き嫌ひがほげい

○嫌ひな物はいくらすゝめられ
作ても
食

べられません

○だんく嫌ひになつた

○嫌ひなものも努力次第で好きになる

○小説は大嫌ひです

キラウ

きらふ

〔嫌ふ〕

〔他五〕

○ 彼は近所の者から嫌はれてゐる。

○ 骨の折れる仕事を嫌つてはいけな。